



【学校教育目標】 夢や希望をもち、共に認め高め合う児童生徒の育成

『命を受け継ぐということ』

校長 肥後 広行

口之島に赴任し、2か月過ぎようとしています。

不思議に感じているのは、校庭から仰ぐ「前岳」が幼いころと変わらぬ姿でそびえていること。大運動会で万国旗を結んでいた「アコウ木」や「ガジュマル」が、そのころと変わらず青々と茂っていることです。私が口之島中学校を卒業して43年の月日が流れていますが、雄大な変わらぬ姿に畏敬の念を思い過しています。

15名の児童生徒は登校後から、切磋琢磨しながら異年齢の集団としての学びを深めています。保護者・地域の皆様には、学校キャンプや愛校作業等、御協力いただき感謝致します。

さて、4月24日今年度初めての全校朝会を行いました。赴任し、初めての校長講話ということもあり、口之島に眠る御先祖様を思いながら「命を受け継ぐ」意味、「命の使い方」について、私なりの思いを話しました。

命ある物には、すべて誕生日があります。1年に一度「おめでとう」とお祝いします。自分で自分の命を作った人は一人もいません。御両親で2人、その両親で4人。そのように平成・昭和・大正・明治とさかのぼり、江戸の終わり頃ぐらいで、2020人ほどの御先祖様にたどり着くことが分かります。つまり、私たちはそれほど多くの見たこともない人から命を受け継ぎ、今自分の番を生きています。しかも、その一人として欠けても、自分という人間は生まれてくることはありません。

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を伝えるために使おう。

「耳」は、人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう。

「目」は、人のよいところを見るために使おう。

「手・足」は、人を助けるために使おう。

「心」は、人の痛みが分かるために使おう。

私と同じ昭和40年神奈川県生まれの『腰塚隼人』氏の言葉です。腰塚氏は中学校体育教師でしたが、スキーで転倒「首の骨」を折り、医師からは「一生寝たきりか、よくて車イス」の生活を覚悟するよう言われます。しかし、「自分の命があらゆるものに助けられ生かされていること」に気づき、「笑顔」と「感謝」と「周りの人々の幸せを願う」気持ちで治療を続け、「下半身と右半身の麻痺」を残しながらも職場復帰します。

私は、この言葉を初めて目にしたとき、命を繋いできたたくさんの御先祖様に恥ずかしくない、命の使い方を諭されたようで、これまでの自分を恥ずかしく思いました。

誕生日に「おめでとう」とお祝いするのは、命をかけて生んでくれた親への感謝を新にする日であり、1年間命を大切にできたことと、そして、よりよい命の使い方を改めて考える日としての意味があるのかなと思います。

縁あって出会った15名の子供たちと10名の職員へ最初に伝えた思いです。

今年度の本校職員の不祥事撲滅スローガン

「自分の弱点を知り、口之島から服務規律遵守でよりよい生活」

よろしく願います！

5/14(月)、スクールカウンセラーの秋山実嗣(あきやまさねつぐ)先生が来校されました。秋山先生は昨年度に引き続き、本校に来校し、子供たちの心の面のサポートをしてくださいます。よろしく願います。



今月から給食調理補助員として、2名の職員が加わりました。給食を通して、食事の面で子供たちの成長を支えてくださいます。

これからよろしく願います。



肥後葉子さん

新留さつ美さん

みんなで力を合わせて！絆を深めた「学校キャンプ」

5月11日(土)16:00に集合し、翌12日(日)まで、子ども会育成会の御協力をいただき、学校キャンプで実施しました。

1日目は役割を分担し、児童生徒や職員、保護者・寮監・里親の皆でテントの準備や夕食のカレー作りをしました。みんなで手作りのカレーをおいしくいただいた後は、レクリエーションや花火をして楽しい時間を過ごしました。

2日目の新入生・転入職員に向けての「歓迎の集い」では、児童生徒が主体となつての活動に、生き生きと動く姿がたくさん見られました。力を合わせて取り組む活動が多くあり、これらの活動を通して、さらに絆を深めることができました。



自然の恵みに感謝！！

～ タケノコ採り ～

5月8日(水)、今年度も肥後親久さんの御協力をいただきまして、児童生徒・職員でタケノコ採りを行いました。親久さん、本当にありがとうございました。

山の中の行き帰りに気を付けながら、採っていきました。採るのにちょうどいい大きさの物を見つけると、「あつた!」と目をきらきらさせて喜んでいました。

採ったタケノコはみんなで仲良く分けました。また、給食でもおいしくいただきました。



日頃の感謝の気持ちを込めて

～ 母の日カーネーション ～

今年度も鹿児島市在住の田知行義久様から、綺麗なカーネーションが届きました。今年で43回目を迎えます。

いただいたカーネーションは、児童生徒から、保護者・寮監・里親の方へプレゼントされました。その際には、「いつも美味しいご飯を作ってくれてありがとう。」など、日頃の感謝を伝える言葉も添えられていました。



十島村ファミリー劇場のお知らせ

今年度の「十島村ファミリー劇場」の内容と日にちが決定しました。場所や時間については、現在調整中です。詳細が決まりましたら再度お知らせがくると思いますので、御都合のつく方は、ぜひ御参加ください。

- 日にち： 6月22日(土)
- 内容：「楽しい音楽の時間」



十島村内の学校との交流の場

～ トカラ集会 ～

5月11日(土)、土曜授業の日、今年度初めての「トカラ集会」が実施されました。TV会議システムを活用して、十島村内の全ての学校で交流をします。

第1回目は、中之島学園の担当でした。中之島にまつわるクイズが出され、みんな一生懸命考えて答えていました。とても大盛り上がりでした。

なかなか会うことはできませんが、「トカラ集会」を通じて、十島村の子供たちの絆が深まればいいなと考えます。



いつもありがとうございます！！

～ 愛校作業 ～

5月18日(土)は、愛校作業が実施されました。

保護者・寮監・里親の皆様や島民の皆様など、多くの方々の御協力をいただきました。

おかげ様で、校庭や中庭、ヤギ広場等の除草がきれいになりました。いつも学校への御協力ありがとうございます。



6月行事予定

1日(土) 前期課程修学旅行・帰島予定

3日(月) 前期課程5・6年生、
後期課程生徒振替休日

8日(土) 土曜授業日・トカラ集会

13日(木) 地域花植え(10:35～) 予定
思春期教育〔TV会議〕
家庭学習強調週間(～19日)

18日(火) 食に関する指導
※ 栄養教諭来校

20日(木) 後期課程期末テスト

22日(土) 十島村ファミリー劇場(予定)

27日(木) 授業参観
学校保健委員会

6月 PTA・教育相談